

SHINANO RIVER DISASTER PREVENTION SYMPOSIUM

信濃川防災シンポジウム

信濃川の治水が歩んだ150年

治水の歩みと災害の記憶を地域の未来へ

もれなくオリジナルエコバッグをプレゼント!

令和8年12月6日(日) 14:00~17:00 ★開場13:30~

会場 ミライエフォーラム 米百俵プレイス東館2F

定員 100名 **入場料** 無料

主催 信濃川河川事務所 **共催** 長岡市

後援 新潟県長岡地域振興局、小千谷市、三条市、燕市、NHK新潟放送局、新潟日報社、長岡商工会議所 NPO法人信濃川大河津資料館友の会

令和8年は信濃川治水150年の節目であり、明治以来の信濃川の治水工事を振り返り今後の信濃川との向き合い方を考える好機です。今後、気候変動による水災害の激甚化・頻発化が見込まれる中でも、信濃川流域の持続可能な発展を目指すために、「信濃川治水の歩みと地域の発展」に関する講演、「全国の災害伝承から信濃川のこれからを考える」に関する講演を行うとともに、「信濃川治水150年の経験を地域の力へ~知るから始まる流域治水と地域づくり　気候変動時代を見据えて~」をテーマとしたパネルディスカッションを実施します。

QRコードよりお申込みください　定員に達し次第受付終了

本シンポジウムは
土木学会CPD 認定プログラムです。



基調講演I

信濃川治水の歩みと地域の発展

信濃川河川事務所長
土屋 修一



基調講演II

全国の災害伝承から信濃川のこれからを考える

東北大学災害科学国際研究所
准教授
佐藤 翔輔

パネルディスカッション

信濃川治水150年の経験を地域の力へ

~知るから始まる流域治水と地域づくり 気候変動時代を見据えて~

総合司会



ラジオパーソナリティ
遠藤 麻理

TIME SCHEDULE

本シンポジウムは
土木学会CPD 認定プログラムです。

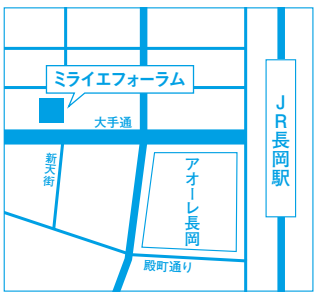
13:30 ~	開場（受付開始）
14:00 ~ 14:05	開会挨拶
14:05 ~ 14:35	基調講演Ⅰ **信濃川治水の歩みと地域の発展** 信濃川治水150年のこれまでの洪水被害と治水対策について振り返り、大河津分水路改修事業を始めとした河川改修事業と効果について紹介します。 信濃川河川事務所長 **土屋 修一**
14:35 ~ 15:30	基調講演Ⅱ **全国の災害伝承から信濃川のこれからを考える** 全国における災害伝承の取り組みを紹介いただき、信濃川流域における伝承のこれからについて提言いただきます。 東北大学災害科学国際研究所･准教授 **佐藤 翔輔** 効果的で持続的な災害伝承ができる社会の実現を目指し、被災地での伝承プロセスの実態調査や新たな手法の開発等を研究。 長岡高専卒業、新潟市出身。7.13 水害と中越地震を経験。
15:30 ~ 15:40	休憩
15:40 ~ 16:50	パネルディスカッション **信濃川治水150年の経験を地域の力へ** ～知るから始まる流域治水と地域づくり 気候変動時代を見据えて～
16:50 ~ 17:00	閉会挨拶

NHK 新潟放送局アナウンサー	山崎 智彦
信濃川河川事務所 所長	土屋 修一
東北大学災害科学国際研究所･准教授	佐藤 翔輔
NPO法人信濃川大河津資料館友の会理事長	岡村 幸弘
三条市水防学習館 館長	五十嵐 一浩
中越市民防災安全士会女性部 部長	土田 直美
流域治水オフィシャルサポーター	樋口 勲

ACCESS

ミライエフォーラム 米百俵プレイス東館2F
〒940-0062 新潟県長岡市大手通2丁目2番地14

- ☑ JR長岡駅から徒歩5分
- ☑ 長岡インターチェンジから約20分
- ☑ 周辺の駐車場をご利用ください。
  なお駐車料金は自己負担となります。



THE SHINANO RIVER 信濃川治水 150

信濃川治水150年とは…

明治9年(1876) 年に三条に出張所が設置され、近代的な信濃川の治水工事が始まってから令和8(2026)年で150年となります。この間、大河津分水をはじめとして、流れが何度も岸にぶつかる蛇行河道の改修、堤防の整備、妙見堰の建設といった治水工事が連綿と行われてきました。



QRコードよりお申込みください
定員に達し次第受付終了

シンポジウムのお問い合わせ先
信濃川河川事務所 流域治水課
〒940-0098 長岡市信濃1-5-30　TEL:0258-32-3243　FAX:0258-34-9044
E-mail:shinano@hrr.mlit.go.jp　HP:https://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/

流域治水